

# 大阪教育大学

# 男女共同参画報告書



ダイジェスト版

2014・2015年度

## 2014・2015年度の大阪教育大学 男女共同参画の取り組み

### 2014

- 教職員セミナー開催『ダイバーシティ推進の意義と課題』
- 大教大ロールモデル 2014 発行
- 男女共同参画推進ロゴマークを決定

### 2015

- 教職員セミナー開催『ワークのダイバーシティ推進と「くるみん」認定への取り組み』
- 「くるみんマーク」認定取得
- 大学及び附属学校園教職員対象にアンケート調査実施
- 外部評価実施
- 2014・2015年度男女共同参画報告書発行



## 両立支援の取り組み

### 授乳室・ベビーキープ等の設置



▲ 授乳室（柏原キャンパス）

柏原キャンパス  
附属図書館 2階  
天王寺キャンパス  
中央館 2階

職員の仕事と子育ての両立支援、乳幼児を育てる学生等に対する支援、そして免許状更新講習・公開講座などで訪れる様々な人の育児に対する支援として、本学では、授乳室の他、オムツの交換台や乳幼児の補助便座等、子育て支援設備を設置しています。

### 相談窓口の設置

出産、育児、介護などのワークライフバランス支援、教職員の各種休暇や休業などの就業制度等に関する相談及び情報提供のために、事務局総務部人事課に相談窓口を設置しています。



# 大阪教育大学における男女共同参画に関する現状

## 国立大学における女性教員比率と大阪教育大学

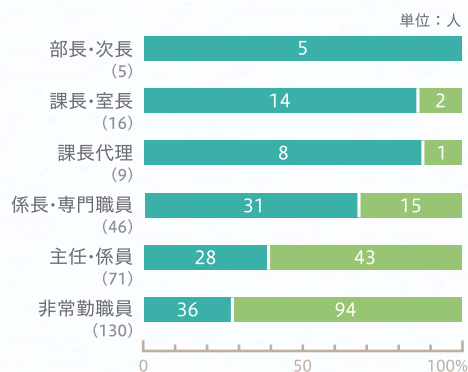
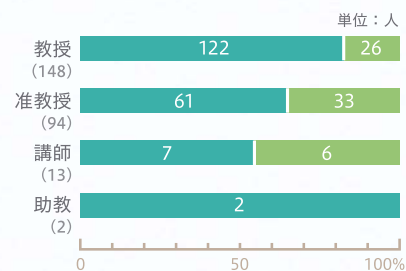
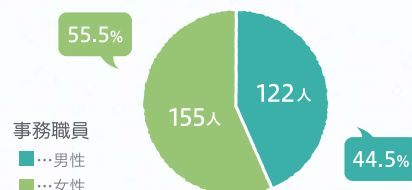
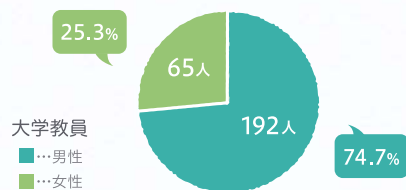
全国86大学中上位10大学	女性比率	2014年度	2013年度
お茶の水女子大学	43.3%	1位 ▶	1位
東京外国語大学	35.1%	2位 ▶	2位
奈良女子大学	33.3%	3位 ▶	3位
総合研究大学院大学	32.3%	4位 ▶	4位
東京学芸大学	23.1%	5位 ▲	6位
京都教育大学	23.1%	6位 ▲	8位
兵庫教育大学	22.7%	7位 ▲	9位
大阪教育大学	22.4%	8位 ▼	5位
福岡教育大学	22.3%	9位 ▼	7位
鳴門教育大学	22.0%	10位 ▲	14位



◀ 2014(平成26)年の国立大学の女性教員平均比率は14.7%

\* 国立大学協会2014年5月調査

## 教職員数と職位による男女比

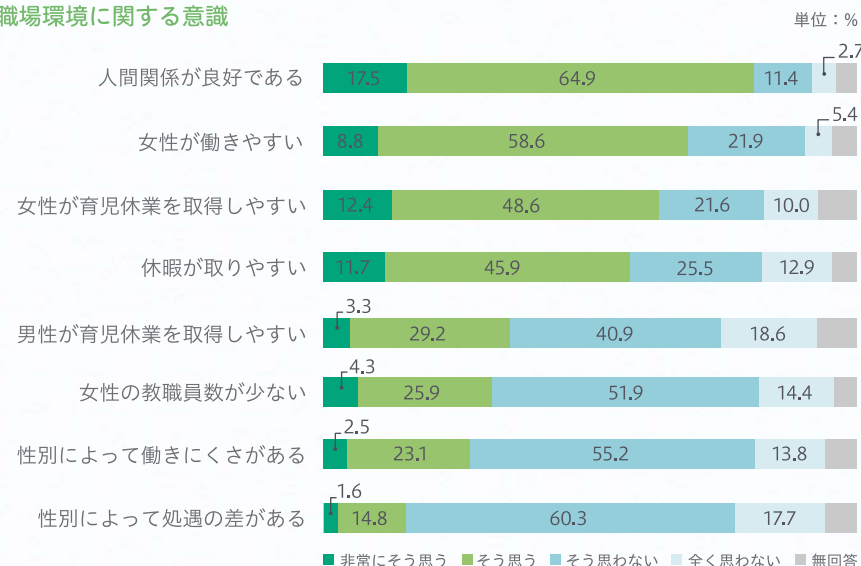


\* 大阪教育大学2015年5月調査

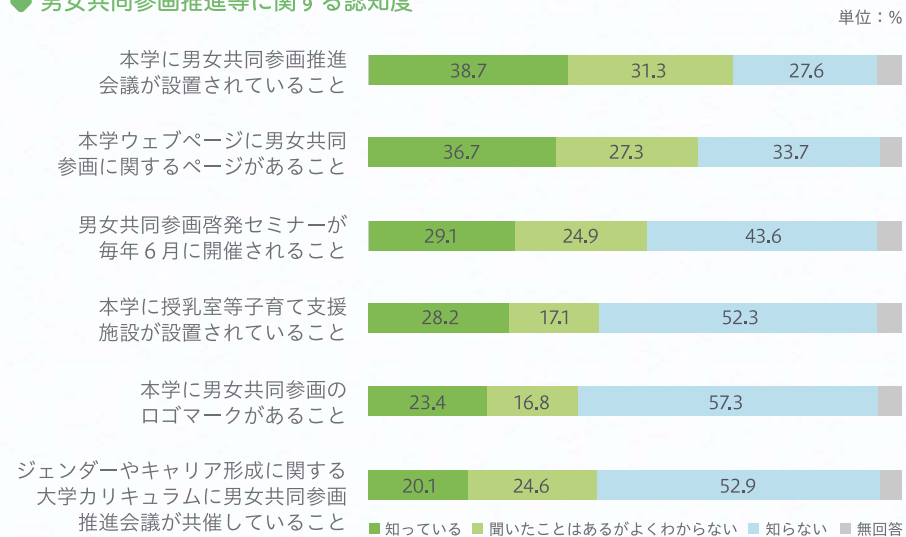
## 大学及び附属学校園教職員アンケート調査

本学の次期男女共同参画推進行動計画を策定するために、大学及び附属学校園教職員を対象に学内調査を行いました。調査期間は2015年11月中旬から下旬とし、配布数1,183件、回収数672件、有効回答数667件、有効回答率は56.4%でした。

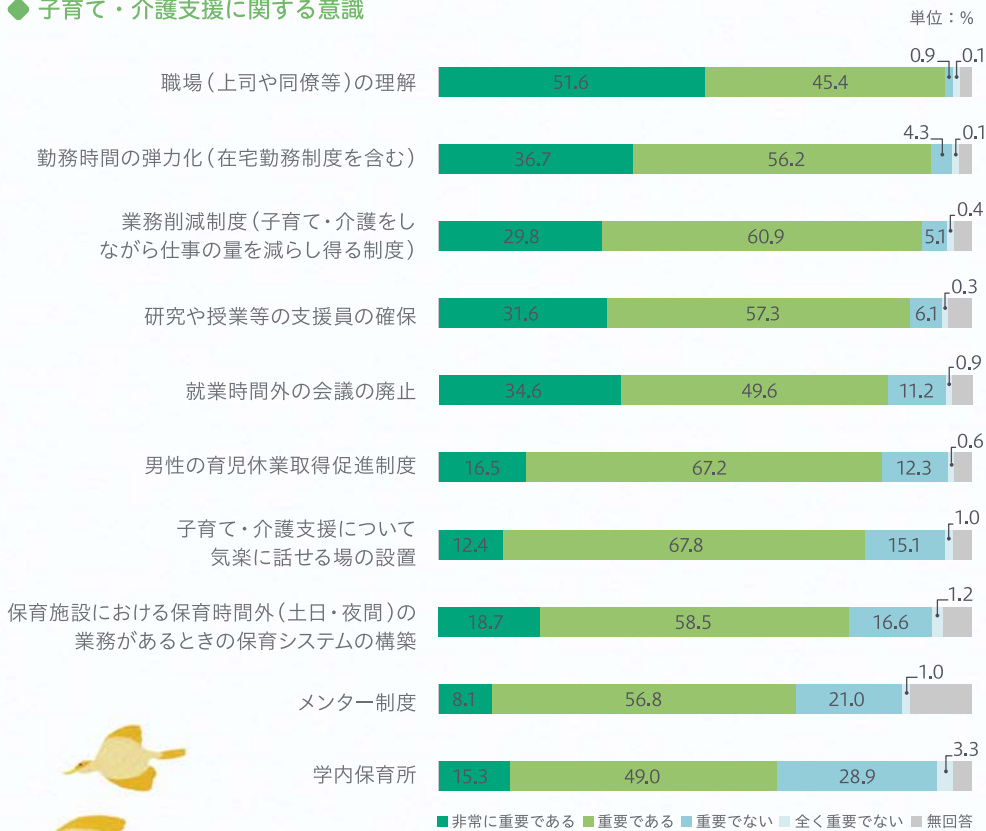
### ◆ 職場環境に関する意識



### ◆ 男女共同参画推進等に関する認知度



## ◆ 子育て・介護支援に関する意識



## 教育・啓発活動

### ■ 男女共同参画教職員セミナーの実施

内閣府は「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までを「男女共同参画週間」としています。本学においても毎年6月に男女共同参画社会に関する基本理念について理解を深めることを目指し、外部講師を招聘してセミナーを開催しています。



### ■ 関連授業の実施

授業「キャリアデザイン」と「ジェンダーとセクシュアリティ」において、男女共同参画に関するスポット授業を行いました。主な内容は、日本における少子化の進行や就業率のM字型カーブ、性発達と性被害、偏見やステレオタイプとキャリアなどについてです。また外部講師による講演や、卒業生による男女共同参画と自身の生き方・働き方についての興味深い話を聞きました。

### ■ 男女共同参画教材コンテンツのアップデート

男女共同参画を推進していくためには、それぞれの教職員が日々の授業や支援の中で男女共同参画をテーマにした働きかけを行っていくことが望まれます。その際に活用できる教材を収集・整理した「男女共同参画教材コンテンツ」のメンテナンスとアップデートを行いました。このコンテンツでは、作成者、ファイル形式、作成年、最終更新年、課題(ワーク)の有無そしてキーワードなどをインデックス化しています。

### ■ ロールモデル集の作成

本学における男女共同参画を推進するための活動として「大教大ロールモデル2014」(A5版18ページ)を作成しました。高校生に進路選択の視野を男女共同参画の視点を含めて広げてもらうことを主な目的として作成し、本学らしいロールモデル集に仕上がりました。作成したロールモデル集はオープンキャンパス等で広く配布しました。

大教大ロールモデル2014 ▶



### ■ コラム「手をつないで」の掲載

大学広報誌「天遊」に男女共同参画推進会議企画専門部会委員がコラム「手をつないで」をリレー掲載しています。No.30(2014年夏号)からNo.36(2016年冬号)には『親密な関係の中にある暴力について』『レディ・マドンナの幸せとは』『大教大ロールモデル2014と男女共同参画推進ロゴマーク』『わたしのなりたちと他者を理解することの意味』『自分のキャリアをライフイベントと共に描いてみよう!』『男女共同参画をめぐる現状と課題について』を掲載しました。

### ■ 研究助成事業の実施

本学の男女共同参画における行動計画の一環として、「ジェンダーの視点を取り入れた教育研究活動を奨励する」という目的で、男女共同参画に関連した教育活動・研究活動及び実践活動に対する助成事業を行っています。附属学校園を含む教職員や学生が、単独あるいはグループ・講座等の組織で実施するものを対象とし、2014年度は5件、2015年度は2件を採択しました。研究成果は男女共同参画教職員セミナーで報告されました。

## 一般事業主行動計画の策定とくるみんマーク取得

### 一般事業主行動計画

次世代育成支援事業の推進の趣旨に則り、本学が率先して果たすべき取組として、職員が仕事と子育てを両立させ、安心して教育、研究、就労ができる環境を構築するため、本学男女共同参画推進会議は一般事業主行動計画を策定し、6つの目標を定めました。

#### 目標

- 1 育児休業・介護休業など両立支援制度全般の情報提供
- 2 育児休業・介護休業取得予定の職員に対するフォロー体制の充実
- 3 男性職員の育児休業取得推進
- 4 所定外労働時間の削減
- 5 年次有給休暇の取得の促進
- 6 授乳及び搾乳等、子育て支援設備の整備促進

計画期間  
2015年4月1日～2020年3月31日

### くるみんマーク取得

一般事業主行動計画を策定した企業のうち、行動計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。本学では2015年11月10日に、くるみんマークを取得しました。



▲くるみんマーク

### 附属図書館に 男女共同参画推進コーナーを設置

2016年1月から2月に、くるみんマーク取得に関連して、附属図書館に男女共同参画推進に関するコーナーを設置しました。



## 国立大学法人大阪教育大学における男女共同参画推進指針

「すべての人は法の下において平等である」と世界人権宣言が示す理念の実現に向けて、我が国でも様々な取組がなされてきました。

国立大学法人大阪教育大学（以下「本学」という。）は、学芸の研究・教授につとめ、高い学識と豊かな教養をもつ人材、特に有為な教育者を育成することをその目的としています。本学は、草創期の1870年代から豊かな人材を社会に多数輩出してきましたが、社会に開かれた大学の責務として、性別にかかわらず個性と多様性を認め合いその能力を十分に発揮することのできる男女平等社会の実現に向けて、さらなる取組を推進し続ける必要があります。

それゆえ、本学はジェンダー平等の視点に基づく男女共同参画を推進するため、ここに基本理念及び基本方針からなる男女共同参画推進指針を定めます。

#### 基本理念

本学は、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）が示す以下の基本理念を積極的に受けとめ、男女共同参画社会の実現を目指します。

- (1) 男女の個人としての尊厳と人権の尊重
- (2) 制度又は慣行が男女の社会活動に及ぼす中立的でない影響の是正
- (3) あらゆる分野における施策の企画・立案及び決定についての男女の対等な参画
- (4) 家庭生活における役割の遂行と他の活動との両立
- (5) 国際的協調の下における男女共同参画社会の形成

#### 基本方針

本学は、上記の基本理念に基づき、以下の基本方針に沿って行動します。

- (1) 男女共同参画の視点に立ち、個人としての尊厳と人権が尊重される教育・研究・就業及び修学の環境を確立します。
- (2) 教育・研究・就業及び修学と家庭生活との調和を支援します。
- (3) 次世代育成支援のための環境を整備します。
- (4) 男女共同参画の啓発活動とジェンダーの視点を取り入れた教育研究を推進します。
- (5) 地域社会・国際社会との連携を通して男女共同参画を推進します。

このダイジェスト版は「2014・2015年度大阪教育大学男女共同参画報告書」をコンパクトにまとめたものです。

URL <http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/jinji/diversity/>

より詳細な情報は、ウェブページより報告書をご覧ください。

